



2017年度 関東学院大学 理工学部 理工学科 電気学系 卒業祝賀会
於 神奈川県民ホール「英一番館」

でんき部会々報

<http://www.kgudenki.jp>

No. 40
発行責任者
山川 和夫



この1年とこれからの

部会活動にあたって

会長 山川 和夫

(電気77年度卒)



でんき部会会員の皆様
お元気にお過ごしです
か。岡田前会長から部会
長を引き継ぎ、早いもの
で2年が過ぎました。今
年6月24日の代議員会で
再選頂き、また2年間部
会長を務めさせて頂くこ
ととなりました。どうぞ
宜しくお願い致します。
部会長統投が決まりこの
文章を書いている6月に
大阪北部地震が発生しま
した。同窓生皆様の中
には被害に遭われた方も
いらしたことを思います。

親会を行いました。燦葉会本部の鈴木会
長はじめ、他部会部長、幹事の方にも
ご出席頂き、楽しい有意義な会となりま
した。
11月は他部会より総会、集う会、見学
会等のご案内を頂き、部会長として参加
して他部会との交流に努めました。今年
に入って、1月には、恒例となりました
「企業と大学との交流会(賞詞交歓会)」
を横浜・金沢八景キャンパスで開催し、
多数の企業の皆様、3年生を中心とした
在校生、先生方にご参加頂き、懇親を深
めることが出来ました。
3月24日には横浜山下公園前の神奈川
県民ホール内の英一番館で、卒業祝賀会
(兼新入会員歓迎会)を学系、学生会と共

心よりお見舞い申し
上げます。

さて、この1年間

を振り返ってみます

と、昨年6月の代議

員会で2017年

度の活動方針、予算

を代議員の皆様にか

り承認頂き、10月

の親睦総会は、台風

来襲と衆議院選挙終

盤の慌ただしい中、

電力中央研究所横須

賀地区の開設40周年

一般公開に合わせ見

学会を実施し、その

後、横須賀中央のセ

ントラルホテルで懇

話を行いました。

燦葉会本部の鈴木会

長はじめ、他部会部

長、幹事の方にも

ご出席頂き、楽しい

有意義な会となりま

した。

11月は他部会より

総会、集う会、見学

会等のご案内を頂き

、部会長として参加

して他部会との交流

に努めました。今年

に入って、1月には、

恒例となりました

催で開催しました。当日、今年の卒業生

の皆様から部会年会費を納入頂きました。

ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

今年は、ロシアで開催されたサッカー

ワールドカップでの日本チームの活躍で、

日本中が大いに盛り上がりました。

2020年の東京オリンピック開催に向

けての準備も最盛期となり、大学生の求

人も好調です。「IoT」や人工知能

(AI)、ビックデータ、ロボットなどの

技術革新、自動運転技術等、目まぐるし

く変化する環境にあつて、恩恵と共に、

少子高齢化、高齢者ドライバーによる交

通事故、振り込め詐欺など大きな社会問

題となっています。このような時代にあつ

て、同窓会・でんき部会の果たすべき役

割をよく考えて、大学、燦葉会本部と連

携を取りながら、会員の皆様にとってよ

り良い組織となるよう活動を進めてまい

ります。会員の皆様のご協力とご支援を

お願いすると共に、皆様のご健勝とます

ますのご発展ご健勝をお祈り申し上げま

2018、2019年度

燦葉会でんき部会三役

会長 山川 和夫 (電気77年度卒)

副会長 白方 進 (電気71年度卒)

幹事長 河田 晶俊 (電気78年度卒)

副幹事長 一杉 和良 (電気96年度卒)

波多江修治 (電気77年度卒)

他役員は、さんよう64号に同封され
ている部会報別刷りを参照してくださ
い。

理工学部理工学科電気学系の近況について



電気学系長 植原 弘明

卒業生の皆様、ご無沙汰致しております。本年度4月より理工学部理工学科電気学系の学系長を仰せつかりました、植原弘明（うへはらひろあき）と申します。誠に非力ながら、皆様の母校をより発展させるため、精進してまいりたいと考えております。

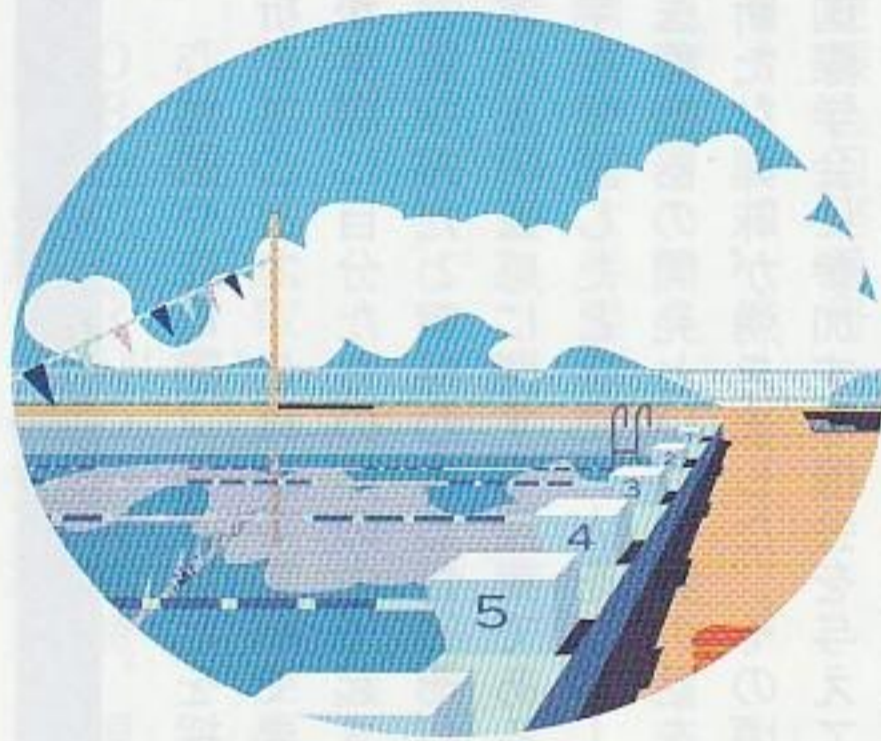
さて、恒例ですが、電気学系の近況をお知らせ致したく存じます。2018年度4月の段階で電気学系の学部生入学者数につきましては、電気・電子コース49名（定員48名）、健康・スポーツ計測コース24名（定員20名）、計73名であり、電気学系の在籍者総数は、267名となりました。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程7名であり、前期課程の在籍者総数は9名、後期課程は3名となりました。

教員の人事異動につきましては、宮崎道雄先生（理工学部教授、大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程指導教授、博士後期課程指導教授）が、2018年3月31日を以って退職されました。宮崎先生は、本学において42年の長きにわたって研究・教育面で多大な功績をおさめら

れました。また、学内では副学長を、学外では電気学会C部門長を務められるなど、幅広く活躍されました。この長年にわたる関東学院大学への貢献に対して名誉教授の称号が授与されております。さらに、4月1日より、石坂雄平先生は准教授に、高橋健太郎先生は教授にそれぞれ昇格されました。

電気学系は、現代社会のインフラの一端を担っている電気・電子分野、そして超高齢化社会の到来に備えた健康・医療機器や健康増進のためのスポーツ科学分野、および関連教育をおこなっています。次世代の若人らが、キリスト教教育を礎に、電気・電子分野、健康・スポーツ計測分野はもちろん、理工学部の他の分野の知識を横断的に学び、専門分野の境界にとらわれない幅広い教養と知識を修得して、社会にとび立てるよう、教職員一同尽力致しております。

改めまして、今後とも、卒業生の皆様からの厚いご支援とご協力をお願い申し上げる次第でございます。



「企業と大学との交流会（賀詞交歓会）」について



副幹事長 波多江 修治
(電気77年度卒)

「企業と大学との交流会（賀詞交歓会）」は、2部構成で1部は5号館101ホールでOB関連企業他15社と多くの企業様にご参加頂いての説明会となりました。2部は場所を代え12号館アゴラで飲食を交えての学生・企業・学校の先生方・部会OBとの直接コミュニケーションができる懇親会の場を例年同様設けました。約40名の学生の皆さんや多くの先生方、関係者の皆様にもご参加頂き盛況のうち無事終了致しました。

今年の「企業と大学との交流会（賀詞交歓会）」は、1月26日（金）関東学院大学横浜・金沢八景キャンパス構内で開催致しました。この交流会も後輩現役学生の就職支援を部会がお手伝い出来ないかとのOBの声を受け、大学の先生方、でんき部会（OB）と学生の交流を主旨としていた賀詞交歓会を「企業と大学との交流会」としてOB関連企業各社様を中心に「ご協力を頂き、大学と部会共催で就職支援を主旨として企画開催し今年5回目となりました。

このような形での開催は、各企業人事担当の皆様からは今回も好評で次回も是非参加したいとの声も多く聞かれましたので、来年も引き続き恒例の就職支援行事としての開催を継続して行きたいと思っております。今後、各関係の皆様からご意見も頂戴しておりますので「企業と大学との交流会（賀詞交歓会）」を更に良いものに改善したいと考えております。

最後になりましたが、開催に当たりご尽力・ご協力頂きました皆様にごこの誌上をお借りしてお礼申し上げます。

でんき部会 総会のご案内

本年度のでんき学部の総会は、下記の通り見学会を行います。

日にち：2018年11月17日（土）

場所：NHK 放送博物館

<http://www.nhk.or.jp/museum/index.html>

東京都港区愛宕 2-1-1

※ NHK 放送博物館は 1956 年に世界最初の放送専門のミュージアムとして愛宕山に開館。放送の歴史に関するさまざまな実物展示や、どれも自由に利用できる「番組公開ライブラリー」や「図書・史料ライブラリー」などを公開。

詳しい内容は、部会のホームページを参照してください。

新卒業生の声

私がこの大学へ入ろうと思ったきっかけ、大学で学んだこと、今後の展望について

関東学院大学 理工学部 第二期生

健康・スポーツ計測コース

森 亮介

(健スポ17年度卒)

私はこの度理工学部 電気学系 健康・スポーツ計測コースを卒業しました。森亮介です。私がこの大学へ入学を目指し始めたきっかけは、高校時代に所属していた空手道部の部活中に手術が必要な程の大きな怪我を負ってしまったことです。その手術のリハビリを行っていく中で、理学療法士の方から人体の仕組みについての話を聞き、人の体への興味が湧いてきました。また空手をやっている人が私と同じ箇所を痛めやすいという話も聞き、その怪我を少なくできる方法はないのかと疑問にも思いました。退院後、人体とスポーツの関係について学べる大学を探していた時に、関東学院大学の健康・スポーツ計測コースを見つけました。そして一般入試を受け、健康・スポーツ計測コースへ入学しました。

大学へ入学した頃の私は、正直人の体がいかに奥深いものであるとは思っていませんでした。1〜2年次は、人の骨や筋肉がどのような役割を持ち、アスリートの方たちはどうトレーニングをして鍛えているのかなどを学びました。3年次からは実際に自分たちが被験者と

なり、心電図や筋電図、脳波などを採って解析することで、これまで学んできた知識が実際に自分たちの体の中で起きていることなんだと実感しました。そして3年次に人の五感に関する授業である認知科学を受講したときに、人をサポートする医療機器の開発という分野の話聞き、新たな興味が湧きました。その頃海外の国際学会に参加する機会を与えていただき、本当に医療機関の開発に携わるためには今の自分の実力では足りないと思ひ、大学院への進学を決めました。

大学院では研究に力をいれるだけでなく、日々進歩していく世界中の医療技術や研究についての知識も深めていこうと考えています。これから博士後期課程へ進むか、就職することになるかはまだわかりませんが、ですが、自分の力と知識を磨くことは決して無駄にならないと思うので、できる限りの努力を続けてゆきます。



同期会開催報告

山内 俊彦 (電気61年度卒)

私達、電気工学科九回生は58年4月入学で62年3月卒業である。

卒業以来不定期ではあったが一泊二日の同期会を伊豆周辺で開催しており今回が8回目である。初回は卒業後十年目で4回までは会社員等として勤務があり土日利用の一泊二日で、第5回からは定年後となり平日に開催した。開催場所は伊豆周辺の旅館を多く利用した。

今回は幹事の近所に住んでいた小学校時代の女子同級生が一年前に開業したばかりの伊豆湯河原の旅館で開催することとした。

建物は四階建てながら広間と客室五部屋とこじんまりしており、運営も家族主体で切り回しているように見受けられた。喫煙室を除き全館禁煙ながら、随所に季節の花が飾られて女性客には喜ばれそうだった。

5月22日は爽やかな晴天に恵まれ左に真鶴岬、右に初島を望むコバルトブルーの海を背にして湯河原オレンジラインを上って全員が16時頃までに宿に到着した。今回、当初は参加者15名程度を期待したが11名に止まり残念。受付・部屋割りの後、自由に過ごして貰い温泉に入浴するなり散歩するなりして貰った。

18時宴会場に集合、最初に全員写真を撮影して、同期最年長者の大塚淳美氏による発声で乾杯、続いて全員が近況報告を行った。

参加した者は皆一様に元気であるがそ

れでも車の免許を返上したとか昨年胃潰瘍で切除手術を受けた、腰痛をぶり返したなどがあった。

欠席者の近況では元気で農作業に励んでいると言ったものは極少数で、癌で手術を受け機能回復せずとか階段で転倒落下し6ヶ月の安静中、妻が認知症で老々介護中など年齢を感じさせる。

参加者の近況報告の合間に予めのリクエストに基づく井伊勝行氏によるサクソフォン演奏を皆で聞き楽しんだ。近況報告に戻ったが話の途中で質問が入り、茶々が入り、脱線して全員に回らずに20時となり、元応援団員の川名英司氏の指導で学院歌一番を歌い中締めとして以降は二次会に移し23時近く迄歓談し就寝。

翌朝8時に全員揃って朝食後、9時に宿のロビーで解散した。



Photograph: KAZ Kikuchi

2017年度の年会費・E&C 育成基金納入についてのお礼

会計担当幹事 小川 博 芳
(電気77年度卒)

会計担当幹事 田 中 高 洋
(電気99年度卒)

同窓生の皆様お元気ですか、6月24日
にかながわ県民活動サポートセンター
1503会議室にて評議員会が開催され、
2017年度の事業及び収支決算、2018
年度の事業計画、予算案が可決承認され
ました。年会費は121名、E&C育成
基金は23口の納入頂きました。誠に有難
う御座いました。

2011年3月11日の東日本大震災の
原発事故の撤去の対応作業に数十年に及
びその爪跡は今も残り、本年7月6日に
発生しました西日本を中心に大きな被害
をもたらした豪雨災害の復旧が一日でも
早く、もとの生活に戻りますようお願いま
す。このような時期だからこそ、「人と人
との支えあい」を大切にしたい社会構造が
求められると思います。2018年度は
震災後の復興と西日本暴雨災害の復興に
向けて更なる日本全体が一致団結がんば
る年です。

でんき部会としても、大学、同窓会、
在学生が一丸となる活動を実施すべく皆
様の積極的な活動参加に期待しておりま
す。活動については部会のホームページ
をご覧ください。

2018年度も引続き在学生の論文・
研究発表に奨励賞として金一封の贈呈を
致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞
は在学生の励みとなり、また同窓会との
相互の親睦が図れることで継続を強く推
進したいと思えます。近年は同窓会の活
動に在学生の学生会から積極的に参加を
してくれまますので、先生、在学生と同窓
生等相互の親睦が計られ充実してきたと
思っています。

また、近年は小児化、経済状況等によ
り受験生の減少、卒業生の就職難も聞こ
えております。1月の賀詞交歓会時には
在学生との懇談に期待し、皆様のご協力
の程よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、年会費、E&C育
成基金納入に対し、お礼を申し上げます
と共に、これからも同窓会活動にご協力
の程お願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を会報
別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

0025013122193

加入者名

関東学院大学燦葉会

でんき部会

年会費の納入には次の方法でお願いし
ています。

1. 同封の払込取扱票により郵便局に
てお振り込み戴く方法。
2. OB会の各イベント開催時、現地
にて現金納入を戴く方法。

ホームページ担当幹事 佐々木 正 哉 (情報ネット'07年度卒)



お世話になつ
ております。燦
葉会電気電子
情報部会HP
担当幹事を拝
命しております
情報ネット1回
生佐々木と申
します。お世話
になります。

今年度の評議員会にて再任さ
れ、引き続きでんき部会の
Webサイトを担当することに
なりました。部会のWebサイ
トでは、デザインや内容を見直
し、部会の活動・卒業生の活躍
だけでなく、現役の学生・教員
など大学の状況についてもお知
らせたいけるようにして、皆
様に見ていただけるページを作
成・運営をしていきたいと考
えております。さらに、SNSな
どを用いて皆様へのさらに新し
い情報やお知らせをする方法に
についても検討しております。

また管理体制に関しては、昨
年度より新たに里見卓哉幹事に
もWebサイトの管理を一緒に
勤めていただいております。今
後も里見幹事をはじめ関係者の
皆様と協力して、多くの方々に
見ていただけるページを目指し
ていきます。

最後になりましたが、でんき
部会Webサイトなどでは部会
の活動だけでなく、会員の皆様
からの記事も掲載いたしますの
で、掲載してほしい情報や記事
がございましたら、次のメール
アドレスまでご連絡下さい。今
後とも皆様の同窓会活動へのご
協力のほど、よろしく御願ひ致
します。
メールアドレス
kanri@kgudenki.jp

行事案内

2018年度総会開催のご案内

本年度の燦葉会でんき学部会の総会は、
見学会を行います。

日にち…2018年11月17日(土)

場 所…NHK放送博物館

詳細は、部会のホームページを参照し
て下さい。

2019年賀詞交歓会のご案内

4年間、就職活動を行う学生への支援
の場として、OB関連企業各社様のご協
力を頂き大学と部会共催で「企業と学校
との交流会」(賀詞交歓会)を開催致しま
した。好評につき、今年度も継続して行
きます。

日にち…2019年1月(予定)

会 場…横浜・金沢八景キャンパス

2018年度卒業祝賀会開催のお知らせ

恒例となりました、学系、学生会、部
会の共催による卒業祝賀会を下記の通り
開催いたします。年度末の行事になりま
すが、部会として新入会員としての歓迎
会も兼ねておりますのでOB OG各位
の積極的な参加をお願い致します。

日 時…2019年3月24日(日)

16時～19時

会 場…神奈川県民ホール「英一番館」
(予定)

各行事の詳細は決まり次第、部会のホー
ムページ <http://kgudenki.jp> に掲
載いたしますので、そちらを参照して下
さい。